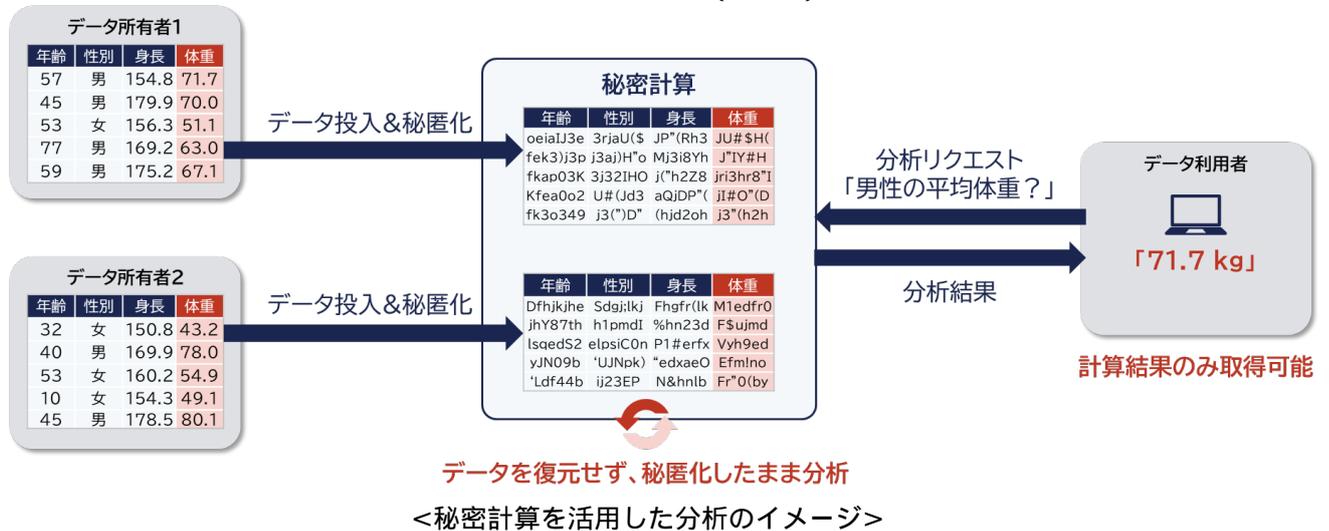


「秘密計算活用事例集 -プライバシーを守るデータ活用例-」第2版および「秘密計算を用いたデータ利活用実践のためのガイドライン」を公開

GMOコネクト株式会社（以下、GMOコネクト）は、NTTドコモビジネス株式会社（以下、NTTドコモビジネス）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、産総研）、株式会社野村総合研究所（以下、NRI）、NRIセキュアテクノロジーズ株式会社（以下、NRIセキュア）とともに、さまざまなデータの安全な流通・利活用に貢献できる秘密計算の普及促進に向けて、ユーザの抱えるニーズや課題に基づき逆引き可能な「秘密計算活用事例集 -プライバシーを守るデータ活用-」（以下 事例集）の第2版および秘密計算プロジェクトの立ち上げやセキュアなデータ管理の実現における指針を示す「秘密計算を用いたデータ利活用実践のためのガイドライン」（以下 ガイドライン）を2026年3月25日に公開しました。

1. 背景

秘密計算は、高度な暗号理論を用いて、データを暗号学的秘匿化^{*1}した状態のままで、データベース処理、統計分析、AIによる分析等ができる技術です。プライバシー保護とデータ利活用の両立を実現する手段として、国内外で注目されるプライバシー強化技術（PETs）^{*2}の一つとして期待されています。



NTTドコモビジネス、産総研、NRI、NRIセキュア、GMOコネクト（以下5組織）は、内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期課題『先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進』^{*3}」の研究開発テーマである「プライバシーなどを保護しつつデータ解析ができる秘密計算などの活用」（以下本研究）にて、秘密計算技術の社会実装に向けた研究開発を推進しております。

秘密計算技術の社会実装を推進するうえで、利用者にとって秘密計算技術を活用することでデータ利活用のシーンがどのように変容するかわからないという課題や、秘密計算を用いたデータ利活用プロジェクトを立ち上げる際の指針および利用する秘密計算システムがセキュアに実装されていることを確認する際の観点未整備であるという課題の解決を目指し、本事例集およびガイドラインを作成することとしました。

2. 本文書の概要およびご利用方法

本事例集およびガイドラインは、秘密計算に関する様々なステークホルダーが必要な情報を参照できるように、複数の文書で構成されております。

文書	編	想定読者
秘密計算活用事例集 -プライバシーを守るデータ活用-		<ul style="list-style-type: none"> 秘密計算の初学者 秘密計算を利用したユースケースに関心を持つ方
秘密計算を用いたデータ利活用実践のためのガイドライン	概説編	<ul style="list-style-type: none"> 秘密計算の方式の種類やサービス事例、将来性など概要を広く知りたい方
	秘密計算プロジェクトの実現プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 秘密計算を用いたデータ共有・利活

ス編	用プロジェクト推進における要点に関心を持つ方
秘密計算におけるデータ管理とセキュリティ編	・秘密計算システムにおけるセキュリティや法的観点の要点に関心を持つ方
(別紙)秘密計算技術における相互運用性(インターオペラビリティ)確保に向けた基本方針	・他組織とのデータ連携を進めるうえで、機密性の高い情報を扱う場合の実現手法に関心を持つ方
(別紙)秘密計算システムを活用したデータ共有のための推奨要件	・秘密計算を用いたデータ共有・利活用プロジェクトにおける参照可能な指標やその制御に関心を持つ方

【秘密計算活用事例集-プライバシーを守るデータ活用-】

秘密計算に馴染みがない方でも技術の概要を簡潔に理解したうえで、ビジネス上のニーズや課題に応じて活用事例を探せるように構成されております。今回の第2版では第1版が対象としていた秘密分散※4を用いた方式に加えて、準同型暗号※5を用いた方式の事例についても記載しました。

事例集イメージ

【秘密計算を用いたデータ利活用実践のためのガイドライン】

ガイドラインは、「概説編」、「秘密計算プロジェクトの実現プロセス編※6」、「秘密計算におけるデータ管理とセキュリティ編」の3つの文書で構成しております。昨年度発信した中間報告文書に、準同型暗号を用いた方式のサービス例や、安全なデータ管理手法の具体例、および法的観点でのチェックリストの加筆等を行いました。

ガイドラインイメージ

本事例集では「暗号学的秘匿化」もしくは「秘匿化」と呼びます

※2：データを安全に保護しながら、データの共有や利活用を可能にする技術の総称

※3：<https://www.gst.go.jp/site/sip3/ryousi-b.html>

※4：データを、それ単体では意味を持たないいくつかの断片に分散し、すべての断片、もしくは特定の数以上の断片が集まらないとデータが復元できない、という暗号技術

※5：暗号化されたデータに対して、計算や検索を復号せずに実行できる暗号方式

※6：「秘密計算プロジェクトの実現プロセス編」の作成にあたって、NTTドコモビジネスの組織変革・事業創出を担うイノベーションセンターデザイン部門「KOEL」が、本研究と、秘密計算を含む国内外のプライバシー強化技術(PETs)専門家の協力体制構築を支援し、秘密計算普及に向けた業界課題に関する意見交換、および各秘密計算事例についてのヒアリングを実施しました

【関連リンク】

[「秘密計算活用事例集 -プライバシーを守るデータ活用例-」初版を公開](#)

[「秘密計算を用いたデータ利活用実践のためのガイドライン」中間報告文書を公開](#)

【本件に関するお問い合わせ先】

GMO コネクト株式会社

執行役員 CTO 菅野 哲

TEL : 03-6555-4390

E-mail : si-contact@gmo-connect.jp

<https://gmo-connect.jp/contactus/>